

1998年生体運動合同班会議の御案内

班員各位殿

生体運動合同班会議プログラムが決まりましたのでお届け致します。間違いなどございましたら、至急お知らせ下さい。

【発表会】

日時：1998年1月6日（火）－8日（木）

会場：順天堂大学有山記念館講堂（附図参照）

（東京都文京区本郷2-1-1 Tel:03-3813-3111 内3260）

発表に際しての注意：

1. 発表は交代に要する時間も含めて10分（講演7分、討論3分）です。時間を厳守してください。
2. スライド枚数は各演題毎10枚以内とします（スライドホルダーの容量限度内）。
3. 発表会場には通常のプロジェクター、OHP、ビデオ（VHS）を各1台用意致します。スライドの方は講演30分前迄にスライド受付にお渡し下さい。OHPのみの方はその旨スライド受付にお申しつけ下さい。ビデオ使用予定の方は12月19日（金）までに御連絡下さい。発表申込時にビデオ使用を希望された方も確認のため連絡してください（e-mail:ogawa-ii@med.juntendo.ac.jpまたはFax:03-5802-0419）。また休憩、昼休み時間を利用して担当者と十分打ち合せして下さい。
4. 発表が済まれた方は次の講演の座長をお願い致します。座長の最後に次々演題の紹介をお願い致します。

【班運営全体会議】

日時：1998年1月7日（水） 6:00PM－6:30PM

会場：順天堂大学有山記念館講堂

【懇親会】

日時：1998年1月7日（水） 6:30PM－

会場：順天堂大学有山記念館地下食堂

【付記】

1. 宿泊は各自御手配下さい。
2. 会場にはクロークがありません。荷物置場を設置致しますが、盗難、紛失等の責任は負いかねますので貴重品は各自でお持ち下さい。
3. 発表会場の講堂内は禁煙、飲食禁止となっておりますので、よろしく御協力下さい。
4. セキュリティー確保のため、班会議期間中は名札（当日受付でお受け取り下さい）を必ず着用してください。

以上

世話人

順天堂大学医学部薬理学教室

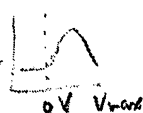
小川靖男

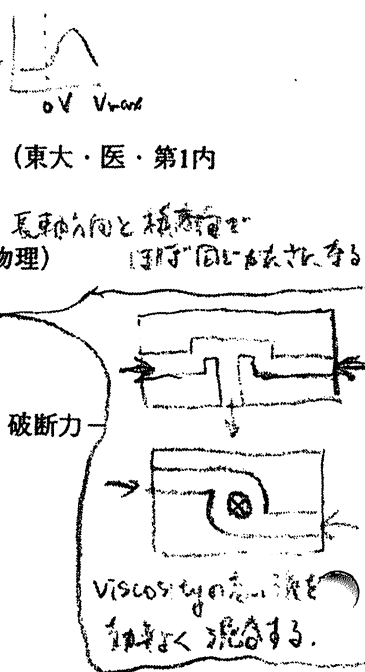
Tel: 03-5802-1034, 1035

Fax: 03-5802-0419

E-mail: ysogawa@med.juntendo.ac.jp

1月6日(火) 13:00-14:50

- 1 13:00-13:10 アクトミオシンからのストレイン依存ヌクレオチド遊離の測定 rate 
- 白川伊吹, 茶園 茂, 杉 晴夫 (帝京大・医・生理)
- 2 13:10-13:20 心筋の弛緩とクロスブリッジサイクリングの関係
- 杉浦清了, 小早川直, 藤田英雄, 山下尋史, 百村伸一, 杉 晴夫1 (東大・医・第1内科, 1帝京大・医・生理)
- 3 13:20-13:30 原子間力顕微鏡による骨格筋単一ミオフィブリルの弾性測定
- 吉川 義弘, 安池 俊博, 若山 純一, 山田 武範 (東京理科大・理・物理)
- 4 13:30-13:40 ストップフロー装置を用いた筋原線維の熱測定
- 大野哲生 (慈恵医大・医・生理1)
- 5 13:40-13:50 テトラヒメナ22Sダイニンの1分子力測定
- 平川恵美, 樋口秀男1, 豊島陽子 (東大・総合文化, 1東北大・工)
- 6 13:50-14:00 双頭、単頭結合の比較—単一アクトミオシン硬直結合の寿命、回転、破断力—
- 多田隈尚史, 西坂崇之, 石渡信一 (早大・理工・物理)
- 7 14:00-14:10 アクトミオシンの1分子力学測定
- 田中裕人, 喜多村和郎, 柳田敏雄 (阪大・基礎工, 医)
- 8 14:10-14:20 HMM1分子の滑り運動観察
- 坂本武史, 西田直子, 網谷一郎, 安藤敏夫 (金沢大・理・物理)
- 9 14:20-14:30 分子内切断アクチンのnative tropomyosinによる機能回復
- 藤目杉江1, ○保住 哲 (名市大・医, 1名大・理)
- 10 14:30-14:40 まだらアクチンの運動
- 本多 元, 五十嵐義昌, 羽鳥晋由, 松野孝一郎, 嶋田勝彦1 (長岡技科大・生物, 1名市大・芸工)
- 11 14:40-14:50 アクチン繊維の不連続運動とATP濃度の関係
- 羽鳥晋由, 本多 元, 嶋田勝彦1, 松野孝一郎 (長岡技科大・生物, 1名古屋大・芸工)



15:00-16:50

- 12 15:00-15:10 アクチン—ミオシン相互作用のヘキサノールによる変調
- 小松英幸, 重岡多恵子, 菅野 毅, 松本陽子, 鈴木 誠1, 児玉孝雄 (九州工大・情報工・生化, 1東北大・工)
- 13 15:10-15:20 ミオシン必須軽鎖とアクチンの相互作用 A1 essential LC → actinの25Dと繋がる
- 宮西隆幸1,2, 大木高志1, 毎田徹夫1 (1長崎大・医・生化, 2長崎大・環境科学)
- 14 15:20-15:30 X線溶液散乱法によるG-アクトミオシン-ADP複合体の特異な構造変化の検出
- 荒田敏昭, 木村俊一1, 杉本泰伸1, 武澤康範1, 若林克三1 (阪大院・理, 1阪大院・基礎工)
- 15 15:30-15:40 骨格筋トロポニンTの心筋と骨格筋細胞への強制発現に関する研究
- 豊田直二, 嶋田 裕 (千葉大・医・一解)
- 16 15:40-15:50 鳥類速筋型トロポニンT遺伝子の構造
- 宮崎淳一, 中谷晋也, 木村文律, 平林民雄, 米村 出 (筑波大・生物)
- 17 15:50-16:00 Thin filament上のトロポニン—トロポミオシンのカルシウム濃度による位置変化
- 三木正雄, 三浦智雄, 海 宏, 小林智芳1, 佐野健一1, 前田雄一郎1 (福井大・工, 1松下電器国際研)
- 18 16:00-16:10 ホタテ (Patinopten yessoensis)のトロポニンIの一次構造 110kD HC を見ている (平沼の2倍ある)
- 堀田明成, 高木 尚 (東北大院・理・生物)
- 19 16:10-16:20 トロポニンC・トロポニンI(1-47)の結晶構造とカルシウム・スイッチのメカニズム
- D.Vassilyev, ○武田壮一, 若槻壮市, 前田佳代1, 前田雄一郎1 (ESRF, 1松下電器・国際研)
- 20 16:20-16:30 再構成細いフィラメントの、らせん対称性によらない1nm分解能三次元構造解析
- 成田 哲博, 真柳 浩太1, 安永 卓生, 若林 健之 (東大理, 1理化学研究所)
- 21 16:30-16:40 変異体作製による貝類トロポニンTの構造と機能解析
- 井上 晶, 尾島孝男, 西田清義 (北大・水産・化)
- 22 16:40-16:50 トロポミオシンの結晶構造
- 山口卓勇, 谷口美恵子 (名古屋大・理・物質理) 電子線回折 (超高压電顕)

有井達夫(生理研)

17:00-19:10

- 23 17:00-17:10 心筋スライスのBa²⁺拘縮時の酸素消費
○上月久治, 石立裕美, 菅 弘之1, 高木 都 (奈良医大・生理II, 1岡山大・医・生理II)
- 24 17:10-17:20 高 MgATP による横紋筋収縮の Ca²⁺感受性増強
○原田景太, 森本幸生, 大槻啓男 (九州大・医・臨床薬理)
- 25 17:20-17:30 線虫C.エレガンスにおけるリアノジン受容体変異株の単離と行動解析
○安達良太, 濱田智代, 作部保次, 香川弘昭 (岡山大・理・生物)
- 26 17:30-17:40 二つのリアノジン受容体サブタイプを欠失した骨格筋の機能と形態変化
○池本隆昭, 駒崎伸二1, 竹島 浩2, 飯野正光2, 遠藤 實 (埼玉医大・薬理, 1埼玉医大・第二解剖, 2東京大・医・薬理)
- 27 17:40-17:50 カエル骨格筋筋小胞体に存在する二種類のリアノジン受容体の差異について
○大羽 利治 (名市大・医・第一生理)
- 28 17:50-18:00 特異的抗体による3型リアノジン受容体/Ca²⁺放出チャネルの精製
○村山 尚, 片山栄作1, 小川靖男 (順天堂大・医・薬理, 1東大・医科研・微細形態)
- 29 18:00-18:10 平滑筋SRの微細構造とCa
○松野アキラ, 石田秀樹, 田中智徳 (島根大・生科・生物)
- 30 18:10-18:20 骨格筋三つ組構造に存在する29Kダルトン膜蛋白質
○竹島 浩, 志牟田美佐, 大見和宏1, 竹島美幸, 飯野正光 (東大・医・薬理, 1国立小児・病理)
ヒポタンザン酸でCa²⁺と沈澱させ、EM, clam catch relax → 細胞膜に貼る
- 31 18:20-18:30 大量cDNA解析による新規細胞骨格・膜骨格・モーター蛋白質をコードする遺伝子群の包括的解析
山川 央, 小原令子, 中島大輔, 中山 学, ○小原 收 (財) かずさDNA研究所)
- 32 18:30-18:40 開口放出関連タンパク質HPC-1/syntaxin 1Aの微小管重合抑制能
藤原智徳1, ○伊藤知彦, 田中陽子, 宝谷紘一, 赤川公朗1 (名大院・理・生命理学, 1杏林大・医・生理)
- 33 18:40-18:50 ウニ卵内pHと精子星状体形成
○浜口みやこ, 浜口幸久 (東工大・生命・基礎生物)
- 34 18:50-19:00 老化とニューロフィラメント
○内田敦子, 久永真市, 依藤 宏1, 岸本健雄2 (都立大・院・理, 1防衛医大・解剖, 2東工大・生命理工)
- 35 19:00-19:10 赤血球の終末分化とアポトーシス
○大室弘美, 向田政博1, 森岡清和2 (東大・院医・薬理, 1防衛医大・法医, 2都臨床研・腫瘍生化)

1月7日(水) 9:00-10:20

- 36 9:00-9:10 MAP4と相同な部位を有するNRAMPの微小管結合活性 → 結合はMAP4とは競合しず、
○徳楽清孝, 香月美穂, 小谷 享, 岸 文雄1 (九州工大・情報工, 1山口大・遺伝子実験)
- 37 9:10-9:20 骨格筋筋原線維のデスミンとα-アクチニンの局在 restingでは一致, 収縮するとずれる,
○黒田正明 (島根大・生科・生物科学) *(Z-line)*
- 38 9:20-9:30 心筋C-蛋白質の2つのタイプ: 心筋と骨格筋での選択的な発現 *[心筋は同程度の短縮する]*
○大日方昂, 猿田恵子, 佐藤成樹 (千葉大・理・生物)
- 39 9:30-9:40 律動的伸縮場における細胞内ストレスファイバーの配向性に関する仮説
○武政 徹, 杉本啓治, 山下和雄 (日本医大・解剖第一)
- 40 9:40-9:50 C末リン酸化ERM蛋白質の挙動
○米村重信, 松井 毅, 月田早智子, 月田承一郎 (京都大学・医・分子細胞情報)
- 41 9:50-10:00 神経突起における微小管の安定化機構
○倉知 正, 田代智子, 小宮義璋 (群馬大・医・分子病態)
- 42 10:00-10:10 アストロサイトの形態分化とジストロフィン分子種の発現
○今村道博, 小沢鉄二郎 (国立精神・神経センター神経研究所)
- 43 10:10-10:20 筋ジストロフィーは筋成長障害: 逆説-成長する筋繊維の核
○戸塚 武, 渡辺貴美, 佐久間邦弘, 浦本 勲 (愛知県コロニー・研・生理)

10:30-12:00

- 44 10:30-10:40 テトラヒメナ14 nm 繊維タンパク質の多機能性の直接証明
○竹田哲也, 沼田 治, 渡邊良雄1 (筑波大・生物科学, 1上武大)
- 45 10:40-10:50 気孔の開閉に関わる孔辺細胞微小管
福田めぐみ, ○馳澤盛一郎, 近藤矩朗 (東大・院理・生物)
- 46 10:50-11:00 細胞分裂期におけるミオシン調節軽鎖リン酸化の調節機序 *収縮環のRLCがリン酸化される*
○細谷浩史, 増田周一, 内村 崇, 濱生 創, 日野端城, 堀 麻紀 (広島大学・理・生物科学)
- 47 11:00-11:10 加圧凍結装置で急速凍結した分裂準備帯 (preprophase band) の微小管 *2/006くらいしか加圧して凍結すると蒸気がでたかん*
○峰雪芳宣, 村田 隆1, Thomas H. Giddings, Jr.2, L. Andrew Staehelin2 (広島大・理・生物, 1東京大院・総合文化・生命, 2コロラド大・分子細胞発生生物)
- 48 11:10-11:20 テトラヒメナの大核分裂における微小管の局在
○藤生健太, 沼田 治 (筑波大・生物科学)
- 49 11:20-11:30 分裂酵母におけるアクチン、トロポミオシン、actin-related protein 3 (Arp3)の局在と役割
○荒井律子, 中野賢太郎, 馬淵一誠 (東大院・総合文化・生命, 理・生化)
- 50 11:30-11:40 分裂酵母におけるMyo3(II型ミオシン)の働きとMyo2(II型ミオシン)との関連
○茂木文夫, 中野賢太郎, 北山智華子, 山本正幸, 馬淵一誠 (東大院・総合文化・生命, 理・生化)
- 51 11:40-11:50 熱ショックタンパク質 (HSP27) の新しい機能: チュープリンとの相互作用
○黒木和樹, 日野端城, 大久保昌明, 堀 麻希, 細谷浩史 (広島大学・理・生物科学)
- 52 11:50-12:00 アクチン繊維の初期エンドソームへの局在
○中川裕之, 宮本茂昭 (九工大・情報工・生化システム)
sorting endosome v. 短かい actin filaments が存在する.

13:00-14:20

- 53 13:00-13:10 低イオン強度の希薄アクチン溶液中に存在するフィラメント形成へのATPの影響
○一海孝光, 近藤博司 (愛知県立芸術大学)
- 54 13:10-13:20 ミオシンATPase反応の実時間蛍光イメージング *短時間*
○平塚寿章 (旭川医大・医・化学) *prodam 2: ~40nM S1 の ATPase が正確に測れる.*
- 55 13:20-13:30 接着性培養細胞の遊走及び増殖を抑制するアタクテ由来の新因子の精製
○江本由美子, 伊藤肇躬, 太和田勝久1 (九大・農・畜産, 1九大・理・生物)
- 56 13:30-13:40 双頭キネシン1分子の一方方向性滑り運動の計算機シミュレーション
○今福泰浩, N. Thomas1, 太和田勝久 (九大・理・生物, 1英国・バーミンガム大・物理)
- 57 13:40-13:50 ミオシン頭部は重鎖のわずかな切断で構造がやや大きく崩れる
○大木高志1, 宮西隆幸1,2, 毎田徹夫1 (1長崎大・医・生化, 2長崎大・環境科学)
- 58 13:50-14:00 自発運動と中枢神経系の伝達物質
山口正弘, ○亀山恒夫, 柴 香保理, 刈間理介1, 神山洋一郎2, 今井寿正3, 中里泰三4
(順天堂大・スポ健, 1東大・医・衛生, 順天堂大・医・2浦安病院麻酔, 3脳神経内科, 4第一生理)
- 59 14:00-14:10 コネクチンと他のタンパク質とのZ線における結合
○矢島浩彦, 大塚裕司, 木村澄子, 丸山工作 (千葉大・理・生物)
- 60 14:10-14:20 ニフトリABP類似タンパク質の構造と筋細胞における局在
○大橋一世, 立川雅司 (千葉大学・理・生理)

14:30-15:50

- 61 14:30-14:40 タンパク質1分子の動的構造変化
○石井由晴, 和沢鉄一1, 横田浩章2, 柳田敏雄3 (科技振・柳田P, 1阪大・医, 2阪大・基礎工, 3科技振, 阪大)
- 62 14:40-14:50 高分解誘電スペクトル測定装置の開発とミオグロビン、アクチン水和測定を試み
○鈴木 誠, 織部信次, 横山慶一, 高橋広己, 後藤昌大, 樋口秀男 (東北大・院工・金属工)
- 63 14:50-15:00 アクチンの水和効果の溶液理論による計算
○入佐正幸 (九工大・情報工・生化)

- 64 15:00-15:10 F-アクチンの構造: C末端と隣接する38-52ループの相互作用
○大井 淳史, 御橋 廣真 (三重大・生物資源, 名大・多元数理)
- 65 15:10-15:20 F-アクチンゲルの力学的性質
○伊藤忠直, Jay X Tang, Paul A. Janney (京都大・理・生物物理)
- 66 15:20-15:30 クラミドモナスの新奇アクチン 接合管形成にかかわっている。actinと~65%相同
○箕浦高子1, 瓜生さと美2, 広野雅文2, 神谷 律1,2 (1基生研・細胞情報, 2東大・院理・生物科学)
- 67 15:30-15:40 クラミドモナスのダイニン欠失変異株のアクチン遺伝子導入による機能回復
○小原昭夫1, 箕浦高子2, 神谷 律1, 2, 広野雅文1 (1東大・院理・生物科学, 2基生研・細胞情報)
- 68 15:40-15:50 ユリ花粉管 135-kDa アクチン東化タンパク質の活性調節機構
○横田悦雄, 武藤尚志1, 新免輝男 (姫路工大・理, 1名古屋大・分子応答センター)
- ☆
16:00-18:00
- 69 16:00-16:10 急速凍結フリーズレプリカ電子顕微鏡法による、個々のミオシン頭部の3次元像再構成
○片山栄作, 大森剛毅1, 馬場則男1 (東大・医科研・微細形態, 1工学院大・工・電気工学)
- 70 16:10-16:20 横紋筋ミオシンモノマーのコンホメーション
○加藤剛志, 小西 薫, 高橋恒久, 福川千香子, 矢沢道生 (北大・理・化学)
- 71 16:20-16:30 再構成した太いフィラメント上の単一ミオシン分子に結合したアクチンフィラメントの回転揺らぎ
○山田 章 (通信総合研究所・生体物性)
- 72 16:30-16:40 コイ・ミオシンS1アイソフォームの2つのループ領域の構造と機能
○平山 泰, 渡部終五, 須藤和夫1 (東大・院農・水圏生物, 1東大・院・総合文化)
- 73 16:40-16:50 太い線維形成の分子機構: axial stagger のメカニズム
○芥川 亨 (京大・化研)
- 74 16:50-17:00 血管平滑筋細胞 (A10細胞) におけるミオシンIの細胞内分布
○荒木隆宏, 山田成仁, 木村志保, 津脇志保, 菅原淳也, 長谷川 靖, 岡本 洋 (室蘭工大・応化)
- 75 17:00-17:10 新血管平滑筋細胞株から得られたサブクロンの性質
○山口英樹 (上智大理工), 増田 毅 (東大医), 松田 譲 (ベッセルリサーチ), 大見和宏 (国立小児病院), 野々村禎昭 (帝京大医, ベッセルリサーチ)
- 76 17:10-17:20 平滑筋収縮のバイサイクリックカスケードモデル
○高橋克仁 (大阪成人病七・研5)
- 77 17:20-17:30 平滑筋のクロスブリッジ回転速度はアクチン側のカルポニンによって調節される - カルポニン欠失マウスを用いた検討 - calponinがないと, latch状態に入っていないがなくなる。
○高橋克仁, 山村倫子, 柴田宣彦, 谷口俊一郎1, 淵辺憲一2, 土屋禎三2, 斎藤みのり3, 善本 亮3, 堀 正敏3, 尾崎 博3, 唐木英明3 (大阪成人病七, 1信州大・医, 2神戸大・理, 3東大・農)
- 78 17:30-17:40 twitchin様タンパク質のリン酸化によるcatch収縮の制御
○船原大輔, 木下滋晴, 渡部終五, D. J. Hartshorne1, T. M. Butler2, M. J. Siegman2 (東大・院農・水圏生物, 1Arizona Univ., 2Jefferson Medical College)
- 79 17:40-17:50 平滑筋ミオシンフォスファターゼに対するふるまいはニワトリ砂囊ミオシンと牛胃ミオシンとは異なる
○佐藤 治, 小川靖男 (順天堂大・医・薬理)
- 80 17:50-18:00 DMSOによる蛋白質分画 (続報)
○江橋節郎 (生理学研究所)
- 18:00-18:30 合同班運営全体会議
- 18:30- 懇 親 会

1月8日(木) 9:00-10:20

- 81 9:00-9:10 骨格筋ミオシンの活性部位に存在する特徴的なループの役割
○丸田晋策, 本間和明 (創価大・工・生物学)
- 82 9:10-9:20 ATP反応に伴うHMM1分子構造変化のAFMによる検出
○瀬戸 勝, 芝田健一郎, 安藤敏夫 (金沢大・理・物理)
- 83 9:20-9:30 平滑筋ミオシン線維を安定化するニワトリ砂の38kDa蛋白質
○岡垣 壮, 中村彰男, 鈴木知彦¹, 大見和宏², 小浜一弘 (群馬大医薬理, ¹高知大理生物, ²国立小児病院)
- 84 9:30-9:40 変異蛋白質による平滑筋ミオシンSH1基の解析
○孤嶋慎一郎, 藤原敬己, 尾西裕文 (国立循環器病センター・研・循環器形態)
- 85 9:40-9:50 粘菌ミオシンの双頭の協同性
○伊藤光二, 劉熊¹, 片山栄作², 上田太郎¹ (NEDO, 工技院・融合研, ¹工技院・融合研, ²東大・医科研)
- 86 9:50-10:00 脳に特異的に発現する非筋細胞ミオシンII-B重鎖アイソフォーム
○高橋正行, 山岸皓彦 (北大・理・生物科学)
- 87 10:00-10:10 車軸藻ミオシンのクローニング
○樫山 拓, 木村尚博, 三村徹郎, 山本啓一 (千葉大・理・生物, 創価大・生物学, 一橋大・生物)
- 88 10:10-10:20 車軸藻ミオシンのクローニング
○森松美紀, 中村彰男¹, 小浜一弘¹, 藤目杉江 (名古屋大院・理・生命理学, ¹群馬大・医・薬理)

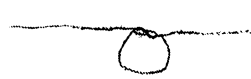
10:30-12:00

- 89 10:30-10:40 ミオシン頭部ヒンジ領域にある芳香族側鎖のアラニン置換
○平塚祐一, 高橋正行, 矢沢道生 (北大・理・化学, 生物)
- 90 10:40-10:50 キネシンの1分子ナノ計測
○井上裕一, 西山雅祥, 樋口秀男, 岩根敦子, 柳田敏雄 (阪大・基礎工. 医, 東北大・工)
- 91 10:50-11:00 アクトミオシンモーター1個の化学・力学反応の同時計測
○石島秋彦 (名大・工・応物)
- 92 11:00-11:10 温度パルス顕微鏡によるキネシン分子モーターの熱変調画像化
○川口憲治, 加藤宏一¹, 石渡信一 (早大・理工・物理, ¹日立基礎研)
- 93 11:10-11:20 新しい滑り解析系を用いたダイニン分子の力学特性の解析
○真行寺千佳子, 吉村美幸子, 樋口秀男¹, 片山英作², 柳田敏雄³ (東大・院理・生物科学, ¹東北大・工, ²東大・医科研, ³阪大・医) 栄 徹 藤 野
- 94 11:20-11:30 細胞性粘菌キネシンファミリーのクローニング
○須山英悟, 須藤和夫 (東大院・総合文化)
- 95 11:30-11:40 ncdのneck, stalk推定領域フラグメントのcoiled coil性と二量体形成能の検討
○伊藤三恵, 森井尚之¹, 清水 隆¹, 田之倉 優 (東大生物生産工学研究センター, ¹生命工学工業技術研究所)
- 96 11:40-11:50 ダイニンの構造変化部位の同定
○稲葉一男 (東大・理・臨海)
- 97 11:50-12:00 単頭ダイニン少数分子による微小管滑り運動
○榎原 斉, 坂井由佳子, 中山治人, 大岩和弘 (通信総合研究所・生体物性)

13:00-15:40

- 98 13:00-13:10 軸糸ダイニンの力発生に関わる反応中間体の同定
○谷 知己, 上村慎治 (東大・総合文化・生命環境)
- 99 13:10-13:20 Tctex-1は鞭毛ダイニンのサブユニットである
○加々美 修, 牧野由美子, 毛利秀雄, 神谷 律¹, 小川和男 (基生研, ¹東大・院理)
- 100 13:20-13:30 ncdモータドメインとヌクレオチドの相互作用
○清水 隆, 森井尚之 (工技院・生命研)

- 101 13:30-13:40 キネシン及びncd-微小管複合体の立体構造
○広瀬恵子, R. Cross¹, L. Amos² (工技院・融合研, 1Marie Curie Inst., 2MRC LMB)
- 102 13:40-13:50 人為的に発生させたカルシウム波は粘菌変形体の弛緩を誘導する
○石上三雄 (滋賀大・教育・生物)
- Cancel (103) 13:50-14:00 メダカ卵にみられる律動性収縮運動の波の性質
○長谷川昌広, 御橋廣真 (名古屋大・多元数理)
- 104 14:00-14:10 マイコプラズマの滑走運動
○宮田真人, 山本 等, 清水 隆, 谷川直樹, Renate Rosengarte (大阪市大・理・生物, ウィーン獣医大学・細菌学研究所)
- 105 14:10-14:20 ユウレイゴヤ精子運動活性化に伴う鞭毛軸系タンパク質のリン酸化
○野村 守, 稲葉一男, 森沢正昭 (東大・理・臨海)
- 106 14:20-14:30 哺乳類精子の運動の超活性化とタンパク質リン酸化
Y. Si, ○奥野 誠 (東大, 生命環境)
- 107 14:30-14:40 哺乳類精子の運動活性化とタンパク質リン酸化
○藤ノ木政勝, 奥野 誠 (東大, 生命環境)
- 108 14:40-14:50 渦鞭毛藻 *Procentrum minimum* の鞭毛運動について
○宮坂 郁, 難波謙二, 古谷 研, 福代康夫¹, 二村義八朗, 東 昭² (東大・農・水, 1東大アジアセ, 2東大・工)
- 109 14:50-15:00 オジギソウの屈曲運動
○神澤信行, 亀山一央, 田宮 徹, 土屋隆英 (上智大・理工・化学)
- 110 15:00-15:10 オジギソウ屈曲運動におけるアクチン系細胞骨格の関与
○山城佐和子, 神澤信行, 田宮 徹, 土屋隆英 (上智大・理工・化学)
- 111 15:10-15:20 F1-ATPaseのステップ状の回転
○安田 涼平, 野地 博行¹, 木下 一彦, 吉田 賢右¹ (慶大・理工・物理, 1東工大・資源化学研)
- 112 15:20-15:30 アクチンフィラメントを結ぶ
○荒井 康治, 安田 涼平, 木下 一彦 (慶大・理工・物理)
- 113 15:30-15:40 DNA-RNAポリメラーゼ相互作用の1分子イメージング
○原田慶恵^{1,2}, 船津高志², 野ヶ山芳和³, 柳田敏雄⁴ (1CREST生命活動のプログラム・チーム13, 2新技団, 3阪大・基礎工, 4阪大・医)

rd-ph-actin

 $\phi 0.32 \mu\text{m}$ 2-4043